

平成29年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理計画作成モデル事業(岐阜県)

市町村間の**広域連携のための行動要領(案)の検討作成**
 作成した行動要領(案)の実効性向上のため**ワークショップにより要領(案)を確認・点検**

岐阜県における災害廃棄物対策に係る課題

岐阜県は多くの市町村が災害廃棄物処理に関する協定を結んでいる一方で、**応援要請の手順、支援を求めるために必要となる情報や収集すべき情報が明確になっていない。**
県内広域連携のための人材育成は未実施。

モデル事業の概要

1. 市町村間の広域連携のための行動要領の検討
2. 行動要領(案)の検証を行うワークショップの実施支援

○ 行動要領(案)の検討方針

- ✓ 市町村連携時に支障となる事項を抽出し標準的対応を定める
- ✓ 支援要請の手順(連絡方法、要請様式、委託方法等)、支援内容の抽出(処理施設の余力、保有車両、人員の確認)するためのアンケート調査様式を整理
- ✓ 受入施設の品質要求を今後基本レベルで統一化するために、各市町村が準備しておくことについて整理

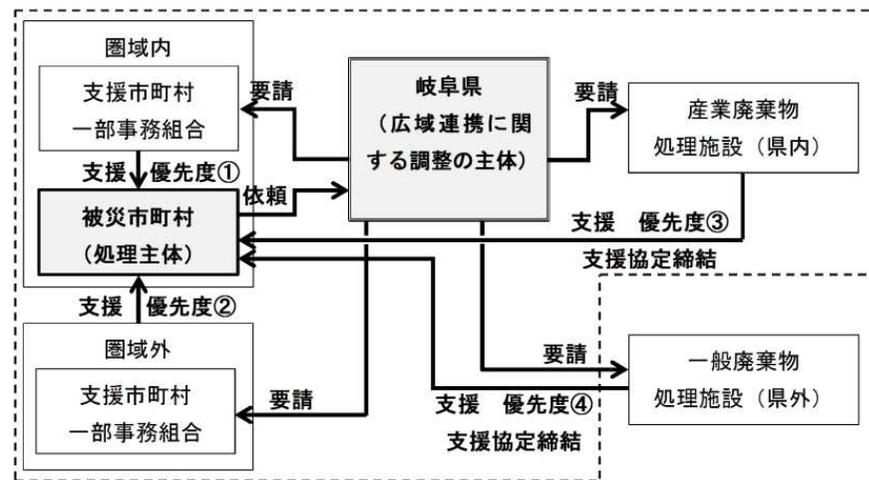
○ 行動要領(案)の概要

- ✓ 圏域内外の市町村との連携及び関係団体との連携を、「広域連携」と定義
- ✓ 県計画の実行版としての位置付けと捉え、災害廃棄物処理に関する広域連携を中心に記載
- ✓ **広域連携手順を示したフロー図及び広域連携を行うための事務手続きの際に使用する様式集**を検討し作成
- ✓ 市町村単独で対応できない事項は本要領、県域を越えた対応が必要な事項は「災害廃棄物中部ブロック広域連携計画 第二版(平成29年2月14日、大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会)」にて対応を図る

○ 広域連携の枠組み

圏域	構成市町村
岐阜圏域	岐阜市、各務原市、羽島市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町
西濃圏域	大垣市、海津市、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町
中濃圏域	関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町
東濃圏域	多治見市、瑞浪市、土岐市、中津川市、恵那市
飛騨圏域	高山市、飛騨市、下呂市、白川村

- ✓ 災害廃棄物の処理は災害の規模に応じて、下記の優先度で対応を図ることを基本とする



平成29年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理計画作成モデル事業(岐阜県)

ワークショップによる要領(案)の点検・確認

○ 目的

- ✓ 災害時における県内連携のための**手続き及び情報伝達が円滑に行われる**よう、行動要領(案)の流れの確認、担当者間の意識統一
- ✓ 行動要領(案)の**実効性向上**のための行動要領(案)、フロー図及び様式の点検

○ 達成目標

広域連携フローの確認

- ✓ 各主体(県、市町村、関係団体等)が広域連携を行う上での、「役割と手順の流れ」について、講義形式での**全体演習を通じて確認**

各主体の検討・準備すべき項目の確認

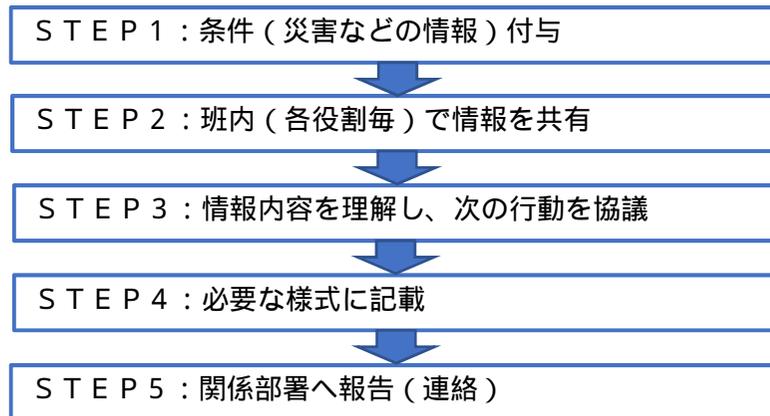
- ✓ 「役割と手順の流れ」を確認する中で、要請、依頼及び報告・回答する項目について**ワークショップ方式による意見交換**を実施

広域連携の事務手続きとなる「様式集」の見直し

- ✓ 今回の演習で試行した「様式」について、**記載項目(報告項目)の見直し**(項目の追加、削除、様式編集等)を実施

○ 方法

【実施手順】



【実施内容】

演習 : 被災圏域内(県、圏域内受援・支援市町村/一部事務組合)の連携について確認

演習 : 被災圏域外(県、圏域内受援・支援市町村/一部事務組合、圏域外支援市町村/一部事務組合、関係団体)の連携について確認

【本ワークショップの特徴】

- ✓ 演習の中にワークショップポイントをいくつか設け、班ごとに広域連携に関する設問を与え、全員で協議(意見・課題抽出)する時間を設けたこと

○ 結果

- ✓ 全体を通じて、災害時の県内連携の手続きや情報伝達の流れが担当者間で確認され、意識統一が図れた
- ✓ 一方で、行動要領(案)の実効性をより高めていくという観点では、ワークショップ後に実施したアンケート結果から、今後も継続的な広域連携に関するワークショップの実施や、広域連携の事務手続きで使用する様式集等の簡素化が必要との課題も挙げられた
- ✓ ワークショップ内の協議(意見・課題抽出)を踏まえ、片付けごみ及びがれき類の収集運搬に係るフローを追加

